

研究課題名	マイコプラズマ感染症入院症例における、ダウン症候群児と非ダウン症候群児の臨床的特徴の後方視的観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	<p>ダウン症候群のお子さんは、生まれつき体のつくりや免疫の働き(体を病気から守る力)に特徴があるため、風邪や肺炎などの呼吸器感染症にかかった時に症状が重くなりやすいことが知られています。一方で、マイコプラズマ感染症(マイコプラズマという細菌によっておこる肺炎)にかかった場合に、ダウン症候群のお子さんがどのような経過をたどるのかについては、これまで十分に調べられていません。</p> <p>本研究では、当院に入院されたマイコプラズマ感染症のお子さんのうち、ダウン症候群のあるお子さんと、基礎疾患(もともとの病気)のないお子さんの経過を比較します。特に、酸素吸入が必要であった日数や治療内容の違いについて調べます。</p> <p>この研究により、ダウン症候群のお子さんがマイコプラズマ感染症にかかった場合の特徴が明らかになれば、早い段階で適切な治療を行うための参考となり、より安全で質の高い医療の提供につながると考えています。</p>
研究対象者	2024年1月1日から12月31日までに当院小児科にマイコプラズマ感染症で入院加療を行ったお子さん
利用又は提供する試料・情報の項目	年齢、性別、入院期間、発熱期間、酸素投与日数、高流量鼻カニューラ酸素療法使用の有無、プレドニゾン使用の有無、血液検査結果(フェリチン、LDH 値)
研究予定期間	～2026年4月30日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 小児科のみで行います
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 小児科 氏名：端 里香 メールアドレス：r_hashi@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）